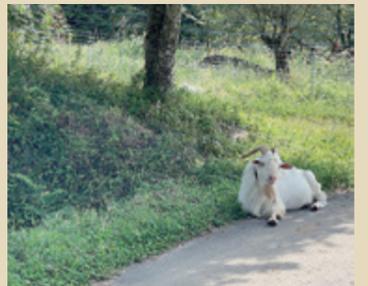


目次 CONTENTS

- 2 話題「農地を舞台に」
- 4 特集「いいたて移住の現在地」
- 8 特集「飯館村×大学生」
- 12 報告「令和3年度決算報告」
- 15 報告「村職員給与公表」
- 16 飯館百景「初秋の農地で」
- 18 報告「9月議会定例会」
- 20 学びの広場「学力検査」
- 21 生涯学習のページ「絵本ライブ」ほか
- 22 ほけんとふくし「百歳賀寿」ほか
- 24 いいたて便り
- 26 話題のパレット
- 27 村からのおしらせ
- 28 いいたてDIARY／までの食卓
- 29 はなれていても／ふれ愛館だより
- 30 ふるさと資源 発掘図鑑
- 31 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙
飯館移住の現状をお伝えする
特集にご協力をいただいた
長田卓也さんご家族。「長田整
骨院」を併設する自宅の周り
には農地が広がり、ヤギのハ
ヤトとエゴマも
のびのびと暮
らしています。



農地を舞台に力を合わせてチャレンジは続く

農家の皆さんとの協働で、農業の力強い発展を目指します

次の一步を踏み出す
各種事業を展開中!

平成29年に19行政区で避難指
示が解除されて以来、村は、営農
再開に取り組み村民の皆さんと
共に、農地の再生に取り組んでき
ました。また、除染により失われ
た地力の回復、拡大した鳥獣被害
への対策、基盤整備などの課題に
地道に取り組みながら、次の段階
を見据えた数々の事業を展開し
ています。

例えば、「生きがい農業」から
「なりわい農業」への発展を支援
する『生きがい農業ステップアッ
プ事業』、農業用ハウスを補強す
る『農業用ハウス暴風雪被害対
策事業』などを継続。新規では、
農繁期の労働力確保を支援す
る『「結」の農業支援事業』、園
芸作物などの生産拡大を目指す
『園芸作物等産地づくりモデル
事業』などを進めています。

また、「あぶくまもち」の生産
拡大、農産物のPR事業などに
は、生産者や加工業者、さらに
は料理上手な村民の皆さんに
も協力をいただいています。

続々と
出荷中!

いずれは6次化もできたらいいな



新規事業「作ってにぎわう新たな彩り野
菜事業」で育てられた色鮮やかな野菜が
道の駅「までい館」に出荷されています。
写真は株式会社リファ代表取締役の菊
野里絵さん(宮内)。「出荷前に野菜の色
が変わって、育てる側も楽しいです」。

青田豊実さん(飯館村あぶくまもち生産組合
代表/前田)のほ場。村産業振興課の職員も
草取りなどを共に行い「あぶくまもち」の生
産に取り組んできました。収穫後は今後の生
産拡大に向け種籾を採取する他、特性を生
かした加工品開発にも取り組みます。



今月の話題
vol.29

いいたて風の子マルシェ

10月23日
午前10時～午後2時
ふかや風の子広場
入場無料!

自慢の農産物や加工食品が並ぶマル
シェ。「あぶくまもち」や村産野菜を料
理研究家がオリジナルレシピで調理
する「ライブキッチン」も開催します。

※写真はイメージです



さまざまな世界情勢の影響を受け、原油価格、飼料価
格等の高騰が続いており、畜産農家の負担が増してい
ます。村は、農業者との懇談などを経て、9月議会定例
会に飼料高騰・燃料高騰対策関係の予算を計上しまし
た。事業の詳細が決まり次第お知らせします。



カスミソウやスターチスを栽培している佐藤和生さ
ん・祐子さん夫婦(関根・松塚)。品質の向上や生産
拡大を目的とする「園芸作物等産地づくりモデル事
業」を活用しています。この事業は令和3年以前から
村外への出荷を継続している経営体が対象です。